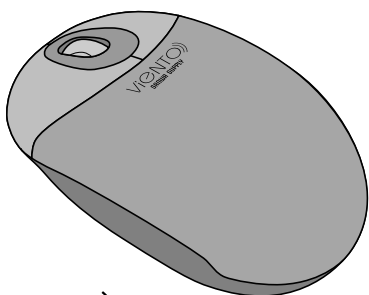
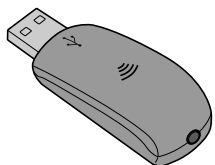


USB



VIENTO)) RFオプティカルマウス

最初に
ご確認ください。

チェック
項目

マウス本体	1台
コンパクト直付けレシーバー	1台
単3電池	2本
USB延長ケーブル	1本
取扱説明書	1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)を
ご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

1	はじめに 警告 ・テレビ・ラジオの受信障害について ・注意
2	ハードウェアのインストール ・対応機種 接続する前に必ずお読みください。 ・本製品をUSBポート接続する際の注意 ・BIOS上でUSBがdisableディセーブル(無効)になっている場合
3	RFオプティカルマウスの接続 ・マウスへの電池装着 ・レシーバーの接続 ・ドライバのインストール ・IDセットボタンの設定方法
6	本製品の使用方法 ・左ボタン・右ボタン ・ホイール(スクロール) ・ホイールボタン(スクロールボタン) ・ズーム
7	ご使用上の注意 ・Windows Meで本製品をお使いにならない場合 ・Windows Me/98SE/98でご使用の場合
8	トラブルシューティング

はじめに

この度は、RFオプティカルマウスVientoをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、ボールを使わないオプティカル方式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボールを使わないので、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。

本製品は、Windows標準ドライバで、スクロールやスクロールモードが使える簡単接続タイプのマウスです。
ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認ください。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。

テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

ハードウェアのインストール

対応機種

本製品には、下記のハードウェア、またはソフトウェア以上のものをご使用ください。
各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ、IBM PC、Aptiva、
及びThinkPadシリーズ
但しUSBポートを持つ機種。
機種により対応できないものもあります。
対応OS:Windows XP・2000・Me・98SE・98

接続する前に必ずお読みください。

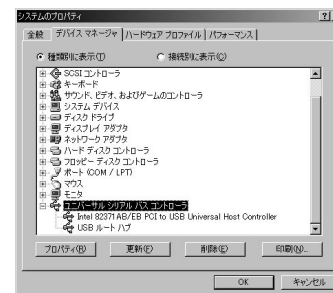
本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。もし、本製品が正常に動作しない場合、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。

これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。

一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。



BIOS上でUSBがdisableディセーブル(無効)になっている場合

BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

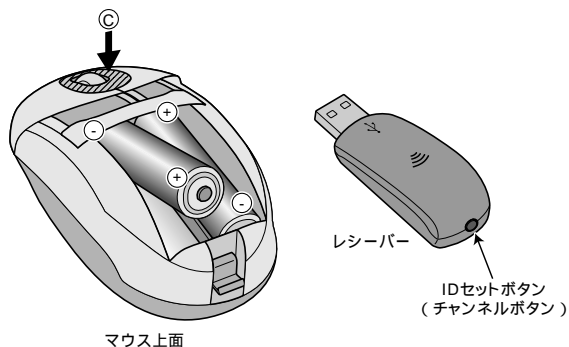
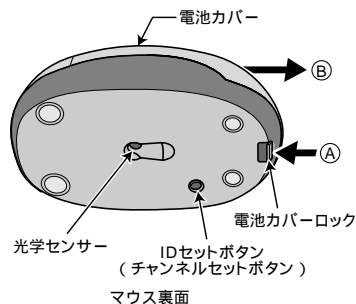
以上で前準備は終わりです。マウスのセットアップを開始してください。

RFオプティカルマウスの接続

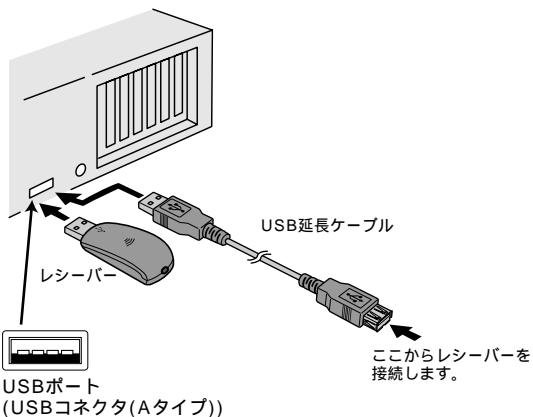
注意1:マウス用レシーバを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお勧めします。

本製品はUSBインターフェイスに対応したマウスですので、接続は次のようになります。接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

1. マウス裏面の電池カバーロックを解除しながら(④)、マウスの電池カバーをスライドし(⑤)、取り外してください。マウスに付属の単3電池を2本入れ、電池カバーを取り外しとは逆の方向にスライドさせ、取り付けてください。
電池を入れる際、電池の方向には注意してください。(下図参照)
2. パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
3. パソコンのUSBポートにレシーバを接続し、IDセットボタン設定を行なってください。USBポートに直付けレシーバが接続しにくい場合、付属のUSB延長ケーブルを使って接続してください。(4ページ参照)
IDセットボタン設定は次の章(6ページ)で説明します。
マウスの電池寿命は、通常の使い方において2~3ヶ月が目安となります。マウスを使用中にホイール周り(③)のLEDが点灯する場合は、速やかに新しい電池に交換してください。電池には、単3アルカリ乾電池をご使用ください。



RFオプティカルマウスの接続 (続き)



詳細な設定については、後ほど説明します。接続の際、コネクタには上下があるので、注意してください。

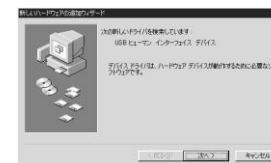
接続完了後、マウスをしばらく使用しないでそのままにしておく、光学センサーが光らなくなりマウスが動かなくなります。その際は、マウスのボタンをクリックしてください。これは、マウスの電池消費を抑える機能(スリープモード)で、20分~30分マウスをそのままにしておくで動く機能です。

マウスをパソコンに接続した際、マウス裏面の光学センサーが3回発光しますので、その間はマウスを動かさないでください。

RFオプティカルマウスの接続 (続き)

コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
レシーバをパソコンのUSBポートに接続します。
自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。
あとは画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。
Windows XP・2000・Meは下記のインストール方法と多少異なり、タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

新しいハードウェアの追加ウィザード



新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



検索方法を選択してください。
• 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ



新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(✓)を入れてください
✓ 検索場所の設定(L)

C:¥WINDOWS¥INF
もしくは、C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS
もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、
✓ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ

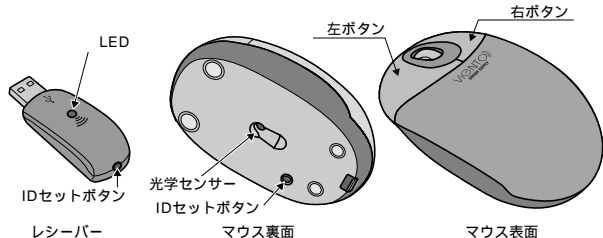


USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 完了

RFオプティカルマウスの接続 (続き)

ID設定方法

レシーバーの設定が完了したら、次にチャンネル及びID番号を設定します。

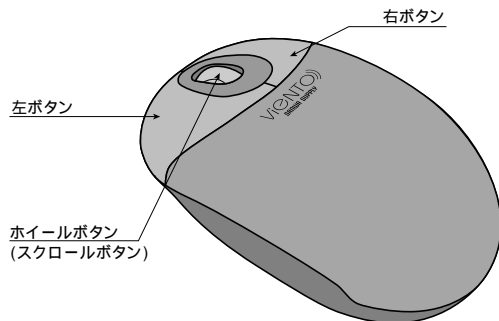


チャンネル及びID番号を設定する前に、(マウス裏面の光学センサー)が点灯していることを確認します。もし、点灯していない場合は、(マウス表面のボタン)を押します。それでも点灯しない場合は、電池が正しく入っているかを確認してください。

1. (レシーバーのIDセットボタン)を押します。
2. (レシーバーのLED)が点灯します。
3. ペン先等を使って、(マウス裏面のIDセットボタン)を押します。
4. (マウス裏面の光学センサー)が消え、(レシーバーのLED)が点滅します。
5. (マウス裏面の光学センサー)が再び点灯し、(レシーバーのLED)が消灯します。
6. これで設定は終了です。マウスを動かしても、マウスポインタが動かない場合は、(マウス表面のボタン)を押してみてください。
7. これでマウスは使えるようになりました。Windowsが標準で持っているマウスドライバで、スクロールモードもご使用になります。チャンネル(CH1もしくはCH2)、ID番号(1～256)は自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使用範囲内でご使用の際、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。パソコンの電源を立ち上げ直した場合でも、この設定を再度行う必要はありません。

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。本製品は、Microsoft IntelliMouse 互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



本製品の使用方法 (続き)

左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えます。Ctrlキーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回させると、倍率が下がります。

ご使用上の注意

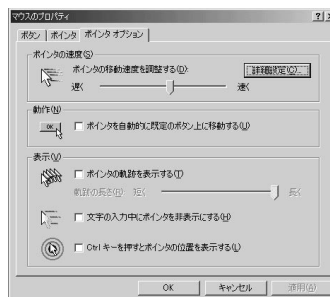
本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルがスキップバックするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

Windows Me で本製品をお使いになれる場合

「コントロールパネル」 「マウスのプロパティ」 「ポインタオプション」 「詳細設定」のポインタの加速度(A)のチェックマーク(✓)を外してください。(Windows 2000の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

Windows Me/98 SE/98 でご使用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



トラブルシューティング

Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。

1. マウス裏面の光学センサーが光ってない場合、マウスがスリープモードになっている場合がありますので、マウスボタンをクリックしてください。(4ページ参照)
2. レシーバー及びマウスのID(チャンネル)が正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は6ページ参照)
3. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、付属の延長ケーブルを使って、レシーバーを見える位置へ出してください。
4. それでも光学センサーが光らない場合、電池寿命かもしれませんので、電池を交換してみてください。付属の電池(アルカリ単3電池×2本)はテスト用です。(3ページ参照)

Q. マウスカーソルの動きがスムーズでない。

1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
2. 他のワイヤレスマウスと混信している場合がありますので、チャンネル及びID番号の設定をやり直してみてください。
3. レシーバーとマウスの距離を調整してみてください。レシーバーとマウスの距離は、0.2m～1mの間でご使用ください。
4. スチール天板のデスク上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、マウスパッド等の上でご使用になってみてください。
5. ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンの上から取り除いてみてください。
6. マウスを使用中にホイール周りのLEDが点灯する場合は、電池の寿命です。速やかに新しい電池に交換してください。(3ページ参照)

Q. Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

1. ハイカラーモードを選択してください。
2. ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。